

てき 々の音を餘外にきかれざるべし。願はくは一覽ありて其状を委しく知り想外の感を得給はんことを附記す

家庭のため

子女を學校幼稚園に托せる方々へ

平山ひさ

ひと 人の親の心は闇にあらねども子を思ふ道に迷ふとか申しますが誠に子を思ふ親心ははかり知られぬほどありがたいものでございます。その迷ふまで至情を以て思つて下さる親の恩子たるものはどうして之に報じてよいか分らぬ位でございますが今親子の間の情の方面をしばらく措きまして、父母は其子を教育する教育者でございますから「教

育者は被教育者をよく知らなければならぬ」といふ方から考へますと親は常に子を觀察し子の眞價を知る上に付て迷わぬ様にしなければなりません。子を見る事親に若かずといふ詞通にいつて居れば結構な事でございますが、多くの中にはやゝもすれば眞面目からして其子を良く見過ぎ又は少くとも長處はよく知つて居りながら其欠点はあまり氣がつかずに過すといふやうな傾向、申さば其子の眞價を知らずにそれ以上に認めて居るといふ事がありはいたしますまいか。固より人間は情の動物で殊に親子といふ深い關係のある間柄ではどんな親がどんな子を見るにも多少の慾目は免かれられませんまいが、できるだけ其眞價を知つて教育の方針なり方法なりを定めて行く事が必要でありませう。されば親たるものはつとめて冷靜なる頭腦

を以て其子の性行を觀察し其眞價を知らなければ
 なりませぬ。それには自宅で我子ばかりを見て居
 るといふ事を避けて時に他へ出で、他の兒を見る
 とか遊びに來た他の兒と我子とを並べて教育的に
 比較して觀察するといふ事が必要でございます。
 學校とか幼稚園では幼兒が入つて參りますと間も
 なく其長處や欠點が受持教師の目によく映じます
 が、之はかういふ場處では子供が家庭に居るより
 も獨立的に生活しなければなりませんから其性格
 がよく現はれるといふ事もございませうが又いか
 にも十人十色に良い子も悪い子も普通のもといふ
 風になつたのがいろ／＼並んで居りますから一
 人々々にはなして見るよりは種々の点が見え易い
 といふ事も確に一の原因でございませう。甲の反
 物と乙の反物が殆ど同じ様によく似た色をして居

つて別々に見れば全く同じ色と思つても二ツ合せ
 て見るとなるほど少しちがふといふ事が分るのと
 同じ事で我子を他の兒と比べるといふ事は極必要
 でございます。幼稚園などで之は良くないかやう
 かやうに悪いといふ風に觀察した子供と親御を呼
 んで注意したりたづねたりいたしますと親御の方
 ではどうしてそこまでには思つて居なかつたとい
 ふ事によく出あひますので、つまりかういふ親達
 は其子を眞價以上に認めて居られるのでございま
 す。之は親の側からはよほどよく考へなければな
 らぬ人間の自然の弱點かと存じます。之を救ふに
 は我子を托して居る幼稚園などになるべく度度行
 つて他家の兒の有様又は他兒と遊ぶ我子の有様な
 どをよく見るといふ事が必要でございます。
 右は親が子を正しく觀察し得ぬ傾を有つて居る

といふ事でございますが、親は又其子をなるべく他人によく見せたいよく見て貰いたいといふ情をもつて居ります。それは尤な事ではございますが實は家庭に於ける我子の長處も欠点も皆打ち明けられた方が得策であります。然るに其打ち明ければならぬ場合又は打ち明けて置かねばならぬ人、たとへば學校幼稚園での受持教師に對してまでもなるべく悪い處は語らずにすませて置くといふ風な事が往々ありがちの様に思はれます。此方(教師)では知れ切つて居る欠点ある或子供の平生に付て親御にたづねると、あれも自宅ではよくいふ事をさしますとか何とか長處ばかりを擧げられ意外の感に打たれ、さても親心はかうした者かと今更の様に感じ、進んで此方ではこれ〜故かう〜いふ風に注意して居ります、どうか御宅で

もそういふ風に願ひたいなど、言ふとまんざら欠点を認めて居らぬのではなかつたといふ様な事もよくございます。或は或子供に急にはじまつた悪い行に付て心配をして急ぎ家庭に知らせると「イヤ自宅では大分前からそれで困つて居ります」など、言はれる事もございます。是等も双方で早く知りさへすれば一致して直しますから早くなほります譯で子供の性行の變化などは家庭からも學校からも常々互に知らせあひたいものでございます。併し家庭の方から進んで常に我子の有様を告げて参考に供するといふ事があまり一足飛で望まれますぬならば(教師は切望いたしますが)せめて問はるればかくさずに打ち明けるとか語るべき場合には十分話すとかせられたいもので、これは家庭と學校とが一致して教育の任に當ると申す上からせひ

かくありたい事でございます。

或幼稚園で時々開きます父兄懇話會の際に下等社會の幼兒を集めた組の方の阿母さん達は問はれるは勿論たづねられぬ事までもサラ〜と話してしましますから教育的考のあまり深くない人達の言とは申しながらとにかく幼兒の家庭での有様が見えすく様に分りまして大に參考に便利でございますが、中流以上の社會の幼兒を集めた方の組では中には特に熱心でくはしくよく語られるものもあります、人に由りてはなるべく詞少なに教師の間などを受け流し多くを語らぬといふ傾向のあるものでございます。親心はかうしたものでございませうけれども阿母さんと教師の一致連絡と申す上からはどうか十分に打ち明けられたく又平生其子をよく觀察して眞正の性格を知りそうして教育

の方針を立てられたいものでございます。

◎親心 昨年三月の頃であつた奉天附近に於ける日露大決戦の期も漸やく迫つた時英國陸軍中尉グラハムと呼べる者日本軍の左翼に投じて實戦視察をなさんとて天津より汽車に乗り錦州を経て新民屯に向つたが夫より後は踪跡不明となり途中馬賊の爲に殺されたるか又は露軍の捕虜となりて露の内地に護送されたか頗る其消息がわからなくなつた。そこで本國にある中尉の母は只管に心配して我子の消息を知らんとて東亞在留の知人に宛て照會の書面を發したること數知れず出來得る限りの手を盡したが更に其手懸りを得ないので今は心も心ならず年老いたる婦人の身にて只一人先頃英國を出發して天津に到着し直ちに汽車に乗替へて滿洲に入り自から各地を搜索したが更に其消息を知る由なく此程悄然として天津に引返したそうだが寔に憐れな話である